

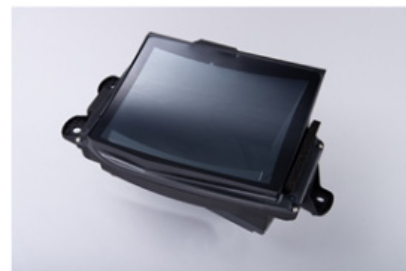
2021年5月27日

パナソニックの大画面WS HUDが 三菱自動車の『アウトランダー』に採用

パナソニック株式会社 オートモーティブ社の大画面HUD (Head Up Display) が、三菱自動車工業株式会社 (以下、三菱自動車) のクロスオーバーSUV新型『アウトランダー』(本年4月より米国、カナダ、プエルトリコで発売) に採用されました。パナソニックのWS HUDが三菱自動車に採用されるのは初めてのことで、WSタイプのHUDの採用は同社初です。



新型アウトランダー (画像提供: 三菱自動車)



HUD 外観



フロントガラスに投影される HUD のイメージ (画像提供: 三菱自動車)

WS(ウインドシールド) HUDは、フロントガラスへ映像を投影することで、ドライバーの視線の先に車速やナビゲーション、MI-PILOT※1による運転支援などさまざまな情報を表示するシステムです。ドライバーの視界の中心近くに表示することで、視線移動によるドライバーの負担を軽減し、ドライバーとシステムとの快適なインタラクションに貢献します。

※1 MI-PILOT・・・三菱自動車が提供する高速道路の単一車線での運転支援技術。

開発にあたっては、パナソニックがデジタルカメラの開発で培った光学技術を応用したフル自由曲面ミラー、高輝度PGU (Picture Generation Unit) の技術を用いて、低歪かつ明るく鮮明な大画面 (画角7°×3°) を実現しました。

開発技術の概要:

1) フル自由曲面ミラー

デジタルカメラの開発で培ったレンズ設計・レンズ成形技術を活用した高精度の自由曲面ミラーを採用。限られた車両空間の中で大画面・低歪の映像投影を可能にするHUD本体の小型化を実現。

2) 高輝度PGU

液晶ディスプレイの照明技術を応用した独自のHUD向けバックライト設計により、太陽光下やサングラス越しのような表示が見えにくくなる状況においても、ドライバーに鮮明な画像を提供。

パナソニックは今後、普及が期待されるHUDの領域において、リーディングカンパニーを目指します。当社の強みを生かしたHUDの開発・納入を通じて、安全・安心で快適なドライビング環境に貢献してまいります。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。